

Let's enjoy アウトドア

冬キャンプ10の注意点 10の注意点のうち①～⑤をご紹介します



冬キャンプは、朝晩の氷点下に対応できる十分な装備と対策が必要です。とくに1～2月の雪中キャンプは、準備不足だと体感的な寒さが辛いだけでなく、命の危険に関わる事態を招きかねません。安全に楽しめるよう早い段階から備えておきましょう。

注意点①

一酸化炭素中毒



冬キャンプに欠かせない暖房。石油ストーブなどを持ち込むキャンパーも多いですが、誤った使い方による事故は毎年のように起きています。幕内では火器使用厳禁ですが、持ち込まなければならない状況のときは換気を心がける・警報機を併用するなど、一酸化炭素中毒に充分注意しましょう。

注意点②

火の扱い方



直火OKのサイトでない限り、薪ストーブは地面へのダメージを考慮して脚の長いタイプを選んだり、ブロックなどをかませて直置きはしないこと。石油ストーブも、雪の上に置くのはNG。熱で徐々に溶けて傾くと、倒れてしまう危険があります。火の粉がテントや衣服に燃えうつらないよう気をつけましょう！

注意点③

燃料の備え



冬キャンプは、着火など普段当たり前にできていることがスムーズにいかない場合もあります。燃料のガス缶も冬場はパワフルな寒冷地用にしておくとう安心です。また、ライターやチャッカマンは冷環境だとすぐにつかないことも。使用前に短時間ポケットで暖めておくと、寒い朝もすぐ熱源を確保できます。

注意点④

水の確保



凍結すると水道が凍ってしまい、水が使用できません。また、キャンプ場によっては、冬場は凍結対策で水道が使えないところもあります。念のため、ミネラルウォーターは他のシーズンより多めに持って行くとう安心ですよ。

注意点⑤

路面の凍結対策



冬キャンプの危険は道中にも！山間部のキャンプ場はもちろん、高速道路も凍っていたりと路面状況にも危険がいっぱい。移動は路面の氷が溶けやすい日中が安全です。装備についても、スリッパのようなスタッドレスタイヤに替える、もしくはタイヤチェーンの事前準備をおすすめします。

POINT!!



今回は冬キャンプの注意点1～5までをご紹介します。

次回は6～10の注意点をご紹介しますので、対策をしっかり行い冬キャンプを楽しんでいただければと思います！